

第16回アジア競技大会 2010											
大会名		16th Asian Games 2010 Guangzhou			日付		2010年11月20日 13:00~				
場所		Aoti Hockey Field			天候		晴れ				
試合数		予選リーグ第3戦			通算結果		日本2勝1敗				
Country				RESULT				Country			
日本 JAPAN				Full Time 6 - 1 Half Time 2 - 0				香港 Hong Kong, China			
Start	No.	Name		Card		Start	No.	Name		Card	
×	1	小澤和幸				×	1	AKBAR Rli (GK)			
×	2	三澤孝康				×	2	CHAN Ka Ho (C)			
1	3	粥川幸司				×	3	AHMAD Waseem		56' Y	
×	5	塩川直人				×	4	DILLON Dev Singh			
15	6	三谷元騎				10	5	DILLON Aman Singh			
×	7	長岡俊輔				×	6	ALI Asif		53' G	
	8	畠山学				7	7	BAL Harinder Singh			
×	9	山堀貴彦				×	8	MOHAMMED Swalikh			
×	10	穴井善博				×	9	CHHINA Jasbir Singh			
×	11	北里謙治				×	10	ARIFAli			
×	12	坪内一浩 (CAP)		48' Y			11	ASGHAR Ali			
×	14	長澤克好				×	12	INDERPAL SINGH		16' G	
×	19	川上啓				14	13	MOHAMMED Mustafa			
	20	高瀬克也 (GK)				×	14	ZAKIR Muhammad Noman			
15	22	小野知則				×	15	SMITH Kieran Thomas Sturrock			
×	23	坂本博紀					16	RASHID Mehmood Raja (GK)			
Coach		Siegfried Aikman				Coach		KUNDAN SINGH Sarjit Singh			
UMPIRE		HRYTSAK John Alexander (CAN)				UMPIRE		JANG Jungmin (KOR)			
Country	Min	Name		Action	Score	Country	Min	Name		Action	Score
JPN	18	北里謙治		FG	1-0	JPN	61	北里謙治		FG	4-1
JPN	33	三谷元騎		FG	2-0	JPN	63	山堀貴彦		PC	5-1
JPN	44	坂本博紀		FG	3-0	JPN	70	北里謙治		FG	6-1
HKG	46	ARIFAli		PC	3-1						
(前半) プールマッチ3戦目の相手は香港。パキスタンに大敗したことからメンタル面のダメージが心配されたが、セミファイナル進出の可能性は十分残されているだけに、気持ちを切り替えて試合に臨んだ。 香港は全員が自陣深くまで下がり、日本に攻撃のスペースを与えない。対する日本もアグレッシブなディフェンスからのカウンターアタックや、ディフェンダーからのロングボールを中心に香港ゴールに襲いかかる。圧倒的にボールを支配し続け、先制点は時間の問題かと思われたが、香港ディフェンダーの体を張った守りの前にシュートの精度を欠いてしまい、なかなか得点を奪えない。嫌や雰囲気が漂い始めたが18分、遂に均衡が破れる。No.22小野のインターセプトから素早くNo.12 坪内につながつとそのままドリブルで持ち込み、ゴール前に打ち込む。これをセカンドポストで待っていたNo.11北里が難なく合わせ、待望の先制点を得る。その後も日本のペースで進み、前半終了間際にはディフェンダーのクリアボールを拾ったNo.6三谷が落ち着いて決め、前半は2-0と日本がリードして終える。 (後半) 後半は、更に日本が勢いを強める。44分には北里からのパスを受けたNo.23坂本がドリブルで2人を抜き去り角度の無いところからリーバースシュート。このシュートが決まって3点目。46分にPCからNo.10ARIF Aliにドラッグフリックを決められてしまうが、61分にはスペースに走り込んだ北里に絶妙なスルーパスが通り、相手GKが飛び出したところを冷静に流し込んでゴール。その2分後にはNo.9山堀のドラッグフリックが決まって更に点差を広げる。最後まで攻撃の手を緩めない日本は終了間際の70分、No.1小澤の左からのセンタリングに対し、北里が技ありのタッチシュートを決め、ハットトリックを達成する。 終始ゲームを試合した日本が格の違いを見せつけ、6-1で香港を下し、2勝目をあげた。											
日本						58%	ボール保有率	42%	香港		
						27	シュート数	1			
						7	PC数	1			

記載責任者：高橋 章